

生誕 140 年 吉田博展

生涯を通じて、描きたい自然を求め、ひたすらに山野を訪ね歩いた吉田博（1876-1950）。仲間たちから「絵の鬼」と呼ばれるほど絵の修業に邁進し、その画家としての姿勢には常に、一切の妥協を許さないチャレンジ精神と、自然への真摯なまなざしがありました。

生誕 140 年を記念して開催するこの展覧会では、湿潤な日本の風景をみずみずしい感性で描いた水彩画や、雄大な高山美をとらえた油彩画、伝統的な技術に洋画の表現を融合した清新な木版画など、代表作を含む約 230 点の作品によって吉田博の画業の全貌を紹介します。出身地・久留米では初となる大回顧展です。



吉田博（1876-1950）

福岡県久留米市に生まれ、幼少期を浮羽郡吉井町（現・うきは市吉井町）で過ごす。中学修猷館を卒業し、京都で三宅克己の水彩画に感銘を受けて本格的な洋画修業を始め、明治 27（1894）年に上京、入門した画塾不同舎で頭角を現す。明治 32（1899）年、23 歳の時に片道切符で渡米、デトロイト美術館で作品を発表して成功をおさめ、ヨーロッパ各地を巡り帰国した後は、太平洋画会や文展、帝展で活躍した。大正後期からは木版画に取り組み、そのうつろう光までとらえた繊細な色彩表現は、英国の故ダイアナ妃をはじめ、今も多くの人を魅了し続けている。

展覧会名	生誕 140 年 吉田博展
会期	2017 年 2 月 4 日（土）～3 月 20 日（月・祝） （前期／2 月 4 日～2 月 26 日、後期／2 月 28 日～3 月 20 日）
作品数	約 230 点
会場	久留米市美術館（本館 2 階）
主催	久留米市美術館、毎日新聞社、RKB 毎日放送
特別協力	福岡市美術館
協力	株式会社モンベル
協賛	ニューカラー写真印刷株式会社
後援	久留米市教育委員会
入館料	一般 1,000 円（800 円） シニア 700 円（500 円） 大高生 500 円（400 円） 中学生以下無料 ※（ ）内は 15 名以上の団体料金、シニアは 65 歳以上、 600 円前売りあり。
開館時間	10:00-17:00（入館は 16:30 まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で 20 分、快速で 40 分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で 30 分、急行で 40 分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館（公益財団法人久留米文化振興会） 展覧会担当：稲富景子 広報担当：森智志 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

展覧会のみどころ

その1 水彩・油彩・木版で描き続けた風景画

吉田は、自然が見せる一瞬の美をとらえようと、水彩、油彩、木版と制作方法を変えながら国内外の風景を描き続けました。画家修業のはじめに専心した水彩画には、朝霧や川霧など湿潤な大気の状態が情趣豊かに表現されており、自ら山に登って獲得した高みから遠くを眺める視界は、雄大な山岳風景の油彩画の傑作を生み出しました。そして49歳から本格的に始めた木版画では、洋画の表現を基本とした造形の上に、それまでの伝統的な浮世絵にはない、繊細な光の輝きや柔らかな色のグラデーションが加えられ、吉田独自の世界が示されています。



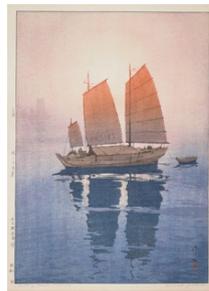
《雲表》(前期展示) 水彩
福岡県立美術館蔵 明治42年



《穂高山》油彩 個人蔵 大正期



《白馬鎗》油彩 東京国立近代美術館蔵
昭和3年



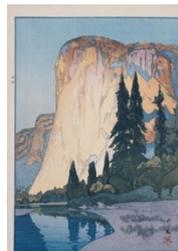
左から
《帆船 朝 瀬戸内海集》
《帆船 午後 瀬戸内海集》
木版 個人蔵 大正15年

その2 外遊で獲得した新たな画題

23歳の時に片道切符でアメリカへ渡って成功を収め、さらにヨーロッパを巡って帰国した吉田は、以後も度々外遊を重ねました。当時の画家としては稀なその行動には、自らの絵画の可能性を求めて果敢に海外へ飛び出すチャレンジ精神と、まだ見ぬ景色への飽くなき探究心があつたことがうかがえます。アメリカやヨーロッパ、中国、韓国、インドなど世界各国を訪ねたことで画題の幅は広がり、表現もまた、その土地ならではの日差しや温度まで画面に取り込んで、さらなる深化を見せていきます。



《ボンシデレオン旅館の中庭》(後期展示)
水彩 個人蔵 明治39年



《エル キャピタン 米国シリーズ》
木版 個人蔵 大正14年



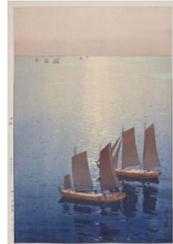
《タジマハルの庭 印度と東南アジア》
(前期展示) 木版 個人蔵 昭和6年

その3 人物画、水墨画、ダイアナ妃に愛された作品など

吉田には珍しい人物画の大作《精華》や、ユーモラスな味わいを見せる水墨画、従軍画家としての作品など、これまであまり紹介されていない作品も展示します。また、吉田の作品は早くから国外で高く評価され、イギリスの故ダイアナ妃は自らの執務室に吉田の木版画《瀬戸内海集 光る海》を飾っていました。これらの作品は、様々な制作方法を経て自らの絵の道を切り拓いていった吉田の姿を伝えてくれます。



《精華》(後期展示)
油彩 東京国立博物館蔵 明治42年



《光る海 瀬戸内海集》
木版 個人蔵 大正15年



《空中戦闘》油彩
個人蔵 昭和16年

関連事業

① ギャラリートーク

- ・日 時： 毎週土曜日 (2/18、3/4 をのぞく)、日曜日 14:00-14:20
- ・集合場所： 本館2階エントランス
- ・参加費： 無料 (要本展チケット)

② 美術講座

「吉田博 - その人と芸術」

- ・日 時： 2月18日(土) 14:00 (13:30開場) ~15:30
- ・講 師： 安永幸一 (元福岡市美術館副館長)

「吉田博の木版画」

- ・日 時： 3月4日(土) 14:00 (13:30開場) ~15:30
- ・講 師： 西山純子 (千葉市美術館主任学芸員)

いずれも会場は本館1階多目的ルーム、先着70名 (聴講無料、要本展チケット)

③ ワークショップ「ごつごつ キラキラ☆ 鉱物キャンドルをつくろう」

- ・日 時： 2月25日(土) ①10:00~12:00、②13:30~15:30
- ・会 場： 本館1階多目的ルーム
- ・講 師： 福間乃梨子 (キャンドル作家)
- ・対 象： 小学生以上 (小学生の方は保護者と一緒にお申し込みください)
- ・定 員： 各回15名 (申し込み多数の場合は抽選)
- ・参加費： 800円 (展覧会チケット込み)、中学生以下200円
- ・申込方法： ①郵便番号、②住所、③電話番号、④参加者の氏名・年齢、保護者氏名 (参加者が小学生の場合) をご記入の上、FAXまたはハガキで久留米市美術館ワークショップ係までお申し込みください。
- ・申込締切： 2月6日(月) 必着 (結果は応募者全員に2月11日迄にお知らせします。)



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

PRESS RELEASE

2017.1.5

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。